

総合診断書

緑の総合病院

カルテNO	To- No. 102	調査日	2002/〇/〇	天候	晴	診断者	神庭正則	
樹種名(愛称)	ケヤキ (参道のケヤキ)							
所在地	東京都〇〇市〇〇1-2-3							
管理・所有者	所有者:〇〇 〇〇							
樹木に関する保護制度・番号	無 天然記念物 保護・保存樹・名木指定 ()			番号	保存樹00-00			
生育環境の概要	立地場所	個人邸 公園 庭園 屋敷林 寺社(境内 参道) 公共施設 ビル周辺 街路 その他						
	周囲の状況	樹林(山林等大面積 杜業等小面積) 芝生 耕地 建物の間 道路 河川 湖沼						
	土壌	(1)有効土壌: 1m程度(推定) (2)地下水系: 不明 (3)土性: 壤土及び埴壤土 (4)硬度: 表層部踏圧により 極めて堅、周辺盛土部や (5)排水: やや不良(やや凹地)	土壌断面図					
	根系の発達	極めて少なく、大径の根が腐朽。根系に病害は見られない。						
	土壌の種類	自然土(堆積土 崩壊土 削剥土 沖積土) 盛土(約 1 m) 客切土						
	地形	山地 低湿地 窪地 埋立地 平地(かつての参道に成育していたが、周辺の水田を埋め立て住宅地化した立地)						
	管理状況	(柵・支柱・刈り込み・剪定等)	平成12年大枝の剪定、切口い殺菌剤塗布。					
	根元の状況	(深植・根あがり・踏圧等)	根元の北西側半分の範囲で盛土(かつての水田部の宅地化)					
形状寸法	樹高	13.5m	根元周囲	381cm	主幹胸高幹周	285.5cm	樹齢	不明
	株立樹木の株立数・胸高幹周	数:- 本 → (cm cm cm cm cm)						
	枝下高	3.7m	枝張り径	E: 11.5 m, W: 7.0 m, S: 5.0 m, N: 9.0 m				
活力	不良(衰退傾向) (枝葉密度 3 枝伸長 3 葉の大きさ 2 葉の色 2 枯れ枝 2 大枝・幹の腐朽 2)							
病虫害	ニレハムシ発生(中程度)							
腐朽病害	幹にコフキササルノコシカケ発生、空洞規模大							
過去の治療歴(問診)	平成12年大枝の剪定、切口に殺菌剤塗布							
	毎年殺虫剤散布(夏季)							
診断結果及び総合診断	活力は不良で衰退方向。土壌の物理性不良による根系の発達不良が主要因。幹は内部が大規模に空洞化し、幹折れの可能性もある。毎年のニレハムシの葉の大規模な食害が樹勢の衰退に拍車をかけている。根系の発育、ニレハムシ防除、幹折れ防止策が必要。							
処方箋	○根元周辺土壌の膨軟化							
	土壌の耕うん及び堆肥類の2割投入。緩効性化成肥料							
	堅穴式土壌改良(土壌改良材2割混入)							
	○支柱の設置							
	○ニレハムシ防除							
薬剤の使用に当たっては注意が必要。								
 <p>支柱設置要 コフキササルノコシカケ発生箇所</p> <p>(土壌改良、施肥) 土壌堅密、物理性改良により根系の</p>								